

株式会社エムウェーブ第22期事業報告書

自：平成30年4月1日

至：平成31年3月31日

1 事業の概要

(1) 事業の経過及びその成果

地域の発展と振興のため積極的な営業活動を展開するとともに、「エムウェーブ」及び「ビッグハット」を長野の貴重な財産として情報発信を行い、関係機関との有機的な連携をはじめ、良質なサービスの提供、施設利用の一層の促進、運営面での更なる効率化、合理化に努めてまいりました。

当期の経営成績のうち売上高は、イベントの増加などで、6億4,091万円と前期より1,982万円増加しました。

販売費及び一般管理に係る営業費用は、6億513万円で、電力水道光熱費の増加などにより、前期と比較して1,470万円増加いたしました。

なお、スケートの振興発展のため、引き続き「ながの夢応援基金」へ前期と比較して1,000万円増の2,000万円を寄付しております。

当期の営業外損益等を含めた税引前当期純利益は、前期と比較して607万円減の1,385万円となりました。

(2) 施設部門別実績

【エムウェーブ部門】

① 施設見学及び売店部門

「長野オリンピックミュージアム」は、平昌オリンピックのトーチ及びメダルの購入などによる展示物の充実や貸館イベント時の動線確保に努めました。見学者は16,719人で3,377人の増加となりました。

売店の売上は、東京オリンピック・パラリンピックライセンス商品の販売などにより、13万円減の399万円となりました。

② 貸館部門

貸館営業につきましては、継続的にご利用いただいている顧客への営業も含め、ビッグハットと営業面での連携を図りつつ、コンサート、展示会など大規模イベント等の誘致・開催に努めました。イベント件数は増加したものの、ゲネプロ・コンサートの減少により、売上は、9,400万円と前期と比較して75万円の減少となりました。入館者数は、前期比8万人増の314,487人でした。

③ スケート部門

スケート大会につきましては、ジャパンカップスピードスケート競技会や全日本スピードスケート距離別選手権大会などを開催しましたが、全日本大会クラス以上の大会の減少により、売上は2,779万円で、前期と比較して838万円の減少となりました。スケート大会の入場者数は25,470人でした。

スケート入場売上は5,807万円で、前期と比較して101万円の増加となりました。無料開放を7日間実施したスケート入場者数は、NTC利用者を含め74,858人で、前期と比較して1,944人減少しました。

エムウェーブのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

平成30年9月30日	全日本及び競技者合宿受入
10月8日	スピードリンクオープン（一般営業開始）
10月8日	ホッケーリンクオープン
11月1日	スケート教室受入開始
平成31年3月10日	営業終了

■ 製氷日程

スピードスケートリンク	平成30年9月10日	準備開始
	9月29日	製氷終了
アイスホッケーリンク	平成30年9月10日	準備開始
	9月29日	製氷終了

■ NTC (ナショナルトレーニングセンター)

アイスリンク専有時間	191.5時間
利用選手数	延べ16,614人 (うち、NTC選抜有資格者 8,674人)
トレーニングルーム利用者数	延べ 3,864人

■ 無料開放 (7日間)

1	平成30年10月7日 (日)	
2	11月18日 (日)	
3	12月9日 (日)	
4	平成31年1月27日 (日)	
5	2月23日 (土)	氷の彫刻展同時開催
6	2月24日 (日)	//
7	3月10日 (日)	

■ 市内小学校スケート教室

教室開催日	35日間
参加学校数	延べ55校
参加者数	延べ 7,294人

■ 主な競技会・イベント

1	ジャパンカップスピードスケート競技会	平成30年10月19日 (金) ~21日 (日)
2	第25回全日本スピードスケート距離別選手権大会	平成30年10月26日 (金) ~28日 (日)
3	第39回全国中学校スケート大会 (スピード)	平成31年2月2日 (土) ~2月5日 (火)
4	第44回長野県ジュニアスピードスケート競技会・東北信大会	平成31年2月10日 (日)
5	第17回エムウェーブスピードスケート競技会	平成31年2月15日 (金) ~17日 (日)
6	第19回氷の彫刻展	平成31年2月23日 (土) ~24日 (日)
7	全日本オールタイムアイスホッケー大会	平成31年3月1日 (金) ~3日 (日)
8	第49回長野市スケート競技大会 (スピードスケート・フィギュアスケート)	平成31年3月9日 (土)

④ その他

館内の広告看板営業収入については、前期と同額の 690万円となりました。

【ビッグハット部門】

① 貸館部門

貸館営業につきましては、コンサート、各種製品の展示販売会や団体の大会等様々な分野でのイベントを積極的に誘致し事業を展開しました。コンサート5件やアイスショー2件などの貸館があり、売上は1億3,208万円と前期と比較して2,276万円の増加となりました。入館者数は1万5,000人減の375,161人でした。

② スケート部門

スケート大会につきましては、全中のフィギュアスケート大会やアイスホッケーのオールドタイマー大会が開催されましたが、大会数の減少により、スケート大会売上は534万円で、前期と比較して604万円の減少となりました。大会の入場者数は11,960人でした。

スケート入場売上は344万円で、前期と比較してより73万円の増加となりました。スケート入場者は、1,642人で、219人減少しました。

ビッグハットのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

平成30年12月11日	リンクオープン アイスホッケー・フィギュアスケート練習開始
平成31年3月3日	リンク営業終了

■ 製氷日程

平成30年11月27日	準備開始
12月10日	製氷終了

■ 主なイベント及び競技会

1	第28回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（中学生）	平成30年12月15日（土）～16日（日）
2	第28回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校高学年）	平成31年1月12日（土）～13日（日）
3	プリンスアイスワールド	平成31年1月19日（土）～20日（日）
4	第28回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校低学年）	平成31年1月26日（土）～27日（日）
5	第39回全国中学校スケート大会（フィギュアスケート）	平成31年2月3日（日）～5日（火）
6	U10長野ウインターカップ	平成31年2月9日（土）～10日（日）
7	第38回松澤記念アイスホッケー大会	平成31年2月22日（金）～24日（日）
8	全日本オールドタイマーアイスホッケー大会	平成31年3月1日（金）～10日（日）

(3) 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
売上高	93,020	503,205	477,700	427,268	411,745	342,744	360,336	368,690	226,660
当期損益 (税引後)	△9,014	△32,767	32,162	5,041	6,673	△279	8,568	6,572	18,438
1株当り 当期損益	円 △1,502.35	円 △5,461.1	円 5,360.47	円 840.22	円 1,112.14	円 △46.52	円 1,428.05	円 1,095.37	円 3,072.95
純資産	290,986	258,219	290,382	295,423	302,096	301,817	310,385	316,957	335,395
総資産	345,709	318,346	348,281	377,501	334,536	327,694	350,694	349,387	383,298

区 分	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
売上高	626,482	643,286	628,308	648,565	677,245	627,560	644,889	663,919	639,418
当期損益 (税引後)	36,142	18,123	14,059	16,599	19,293	12,519	2,578	5,978	12,185
1株当り 当期損益	円 6,023.69	円 3,020.33	円 2,703.64	円 3,192.09	円 3,710.20	円 2,407.55	円 495.91	円 1,149.65	円 2,343.43
純資産	371,537	389,660	363,719	380,318	399,611	412,130	414,709	420,686	432,872
総資産	450,954	464,166	430,645	473,967	470,712	483,716	488,594	507,272	505,043

区 分	第19期	第20期	第21期	第22期					
売上高	674,087	682,983	621,096	640,918					
当期損益 (税引後)	13,658	16,386	12,598	8,008					
1株当り 当期損益	円 2,626.62	円 3,151.22	円 2,422.80	円 1,540.16					
純資産	446,531	462,917	475,516	313,525					
総資産	539,002	563,713	547,772	393,314					

(注)

- 1 第1期は、当社設立が6月1日であり、9月30日までの4か月間です。
- 2 第9期から事業年度を4月1日から翌年3月31日までと変更したため、第9期は6か月間です。
- 3 1株当たり当期損益は、期末発行済株式の総数から算出しています。なお、発行済株式の総数については、自己株式を除いています。
- 4 第10期からビッグハット及び若里市民文化ホールの指定管理業務を行っています。
- 5 第22期において、資本金の額を3億円から9,000万円に減少するとともに、自己株式800株を消却しました。

(4) 設備投資の状況

- ① ビッグハットの通路、トイレの照明をLED化しました。

(5) 資金運用の状況

資産の有効な管理として、第7期から国債を購入してあります。現在、3,000万円分(1本)を保有しています。

(6) 会社に対処すべき継続的課題

- ① 長野オリンピックの貴重な遺産である「エムウェーブ」、「ビッグハット」を長野の財産として後世に引き継ぐとともに、長野の知名度、イメージアップ、地域振興のため、情報発信を積極的に行う。
- ② スケートをメジャーなスポーツに育て、長野をスケートの聖地とするため、スケート普及振興に対し、物心両面でのサポーターとなる。
- ③ 合理的、効率的な経営を行い、常に良質なサービスの提供と継続的な黒字経営に努める。

2 会社の現況

(1) 株式の状況

会社が発行する株式の総数	24,000株
発行済み株式の総数	5,200株
株主数	8名

※ 資本金の額を3億円から9,000万円に減少しました。併せて、自己株式800株を消却しました。(平成31年3月15日効力発生)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率(%)
長野市	3,000	57.7
長野県	600	11.5
株式会社 前川製作所	800	15.4
鹿島建物総合管理 株式会社	500	9.6
株式会社 八十二銀行	160	3.1
長野信用金庫	80	1.5
長野県農業協同組合中央会	30	0.6
長野都市ガス株式会社	30	0.6

(2) 取締役及び監査役の氏名等(平成31年3月31日現在)

会社における地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役会長	加藤 久雄	長野市長
代表取締役社長	滝澤 信一	株式会社エムウェーブ(常勤)
専務取締役	寺澤 正人	株式会社エムウェーブ(常勤)
取締役	轟 寛逸	長野県教育委員会事務局教育次長
取締役	舟見 英夫	株式会社八十二銀行常務取締役
取締役	樋口 博	長野市副市長
取締役	高橋 要	長野市商工観光部長
監査役	角沢 本広	長野信用金庫専務理事
監査役	春日 十三男	長野県農業協同組合中央会専務理事

(注) 当該事業期中の取締役及び監査役の異動は、次のとおりです。

1 就任

平成30年6月29日開催の第21期定時株主総会において、上記取締役(滝澤信一氏を除く。)が選任され、その後開催された取締役会において代表取締役会長兼社長加藤久雄氏、専務取締役寺澤正人氏が選任されました。

同じく第21期定時株主総会において角沢本広監査役が選任されました。

平成31年1月16日開催の第22期臨時株主総会において取締役に滝澤信一氏が選任され、同年2月1日開催の取締役会において滝澤信一氏が代表取締役社長に選任されました。

2 退任

平成30年6月22日付けをもって青木敏雄氏は監査役を辞任により退任いたしました。

(3) 従業員の状況（役員を除く。）

人 数		平均年齢	平均勤続年数
男 性	4名	49歳4月	7年0か月
女 性	5名		

(注) 上記のほか、株式会社JTBから1名（平成31年1月まで）、人材派遣会社から2名の派遣を受け運営いたしました。